

# ほけんたより 9月

平成28年9月9日  
越生中 保健室



救急とは、急病やけがの応急手当をすることです。大きな病気やけがだけでなく、すり傷や切り傷の手当でも「救急」の仲間です。

まず、自分がけがをしたときの応急手当をしっかりと覚えて、実行できるようにしましょう！

## ケガはどうやって 治っていくの？ (すり傷)

### 応急処置、できるかな？

**すり傷**  
水で洗う

**切り傷**  
水で洗って傷口を押さえる

**やけど**  
水道水で痛みがなくなるまで冷やす

①強くぶつけたり擦ったりすると、衝撃で血管に傷がついて血が出ます。これがケガをした状態。



打撲のときは皮の下で血が出ているんだよ



②穴が開いたところで血が固まり、仮のふたをして、出血が止まります。このふたがかさぶたです。



ケガをしたとき押さえるのは、早く血が止まるように手助けしているんだね



③同時に免疫系の細胞が、侵入してきた異物や死んでしまった細胞などをお掃除。ケガの部分が痛んだり、腫れたり、発熱したりします（炎症）。



傷口の砂を洗い落とすのは、このお掃除が長引かないようにするためなんだ



④お掃除が終わってきれいになったら、傷ついた細胞を治す材料が運ばれ、時間をかけて内側から治っていきます。



目に見えないけど、こんなことが起こってたんだ！



みんなのからだには、自分で自分を治す力があるんだよ